



男性としては町史上4人目

## 満100歳の長寿を祝い賀寿贈呈

山形久治さんが10月25日に満100歳を迎えられ、同日、憩の森で賀寿贈呈式が行われました。式では、町のほか、内閣総理大臣や県知事、町老人クラブ連合会から賀寿と記念品が贈られ、妻の眞子<sup>さだこ</sup>さんからは花束が贈られました。薄町長は「これからも元気で長生きしてください」とお祝いを述べ、式の最後には親族を代表して渡部龍哉さんが謝辞を述べました。



販売開始から4年目を迎えた「車麯ラスク」

## 高校生が新風味のアイデアを発表

11月1日、高校生による車麯ラスクの新風味アイデア発表会が西会津高校で開かれました。今回発表された新風味のアイデアは、ピンクの色合いがかわいい「いちごみるく風味」と、爽やかな酸味の「レモン＆オレンジ風味」です。この2つの新風味は、今後の商品化に向け、今年のふるさとまつりで来場者に投票してもらいながらテスト販売を行いました。



松尾神社「上卯祭・醸造講社祭」

## おいしい酒ができるよう祈願

県内唯一の「酒の神様」として知られる松尾神社の大祭「上卯祭」が11月7日に行われ、県内の9蔵元の当主らが出席しました。上卯祭は、日本酒の仕込み作業が本格的に始まる前に良質な酒造りを祈願する行事で、沼澤文彦宮司が境内にある御神井から湧き水をくんで神事を行った後、酒造りの種水となる御神水を蔵元の当主らに分配しました。



西会津中で光桐祭

## 学年ごとに劇やダンスを披露

11月3日、「<sup>いろどり</sup>彩 ～一瞬の輝きを永遠の思い出に～」をテーマに西会津中学校で光桐祭が開かれました。当日は、実行委員長の齋藤朱峰さんの開会宣言の後、JRC発表や合唱コンクールのほか、学年ごとの企画として劇やダンスなどが披露されました。また、会場では保護者の皆さんによる食堂や、文化部の皆さんによるお茶会なども開かれました。

アートの楽しさ伝える

## 西会津小で黒板ジャック

西会津小の児童らが登校すると、黒板一面にリアルな絵画が――。

10月29日、武蔵野美術大の学生による黒板ジャックが披露され、6年生の教室が児童らの歓声に包まれました。児童らは、初めて見る黒板ジャックに「リアルだった」「本物そっくり」「細かい部分や光の反射がすごい」など、驚きと感動の声を上げ、興味深そうに作品を見入っていました。この黒板ジャックは、児童らに美術を身近に感じてもらおうと町地域おこし協力隊の池田麗奈隊員が企画したもので、武蔵野美術大の平良麻陽さん（左下写真右）と熊本幸子さん（同左）が前日に約8時間かけて6年1組と2組それぞれの黒板に作品を描き上げました。



同日程で創立70周年記念事業も開催

## 西高公開文化祭を開催

10月13日と14日の2日間にわたり、西会津高校で3年に一度の公開文化祭「西高祭」が開かれました。初日は開祭式に引き続き仮装行列で町民の皆さんに翌日の一般公開をピーアールしたほか、2日目には、各クラスや有志団体などがさまざまな企画で来場者をもてなしました。

また、本年度は西会津高校創立70周年にあたり、これを記念した講演会と音楽会も合わせて開催されました。準備に何カ月もの時間を掛けた今回の行事では、生徒一人一人がそれぞれの立場で役割を全うし、イベントを成功につなげることができました。責任を果たした生徒たちは、また一段と成長したようでした。



## 平成 30 年度県きこ品評会「なめこ・ひらたけの部」 田崎眞平さんに県知事賞

福島県きこ品評会の「なめこ・ひらたけの部」で田崎眞平さんの菌床なめこが福島県知事賞を受賞しました。11 月 14 日、町役場に訪れた田崎さんは、薄町長に受賞を報告し、「受賞を励みにより良いなめこ作りに励みたい」と話しました。田崎さんは過去にも各種コンクールで入賞しており、平成 7 年には全国林業経営推奨行事で農林水産大臣賞を受賞しています。



西会津小 4 年生 37 人に貸与

## 西会津小に学習用タブレット導入

町教育委員会では、児童の学力向上と家庭学習の充実を目的に学習用タブレット型パソコンを導入しました。西会津小 4 年生全員に貸与し、授業や休み時間、放課後のほか、家庭に持ち帰って活用するなど効果検証を始めました。10 月 29 日に行った操作説明会では、児童らが今後定期的に派遣される ICT 支援員に操作方法を教わりながら各教科の学習ソフトに挑戦しました。



## ラジオ体操は計算しつくされた究極の運動だった！ 正しい「ラジオ体操」を学ぶ

町では、11 月 10 日にラジオ体操講習会を開催しました。当日は、県ラジオ体操連盟の作田美代会長が講師を務め、参加者はラジオ体操の動きを実践しながら、正しい体の動かし方などを学びました。ラジオ体操は人の体を満遍なく動かすために必要な運動を組み合わせで作られており、継続して行うことで肩こりや腰痛の予防・回復、柔軟性の向上などの効果があるといわれています。

西会津小で「わくわくフェスティバル」

## 団結～感動と喜びと最高の思い出を～

11 月 17 日に「西小わくわくフェスティバル」が開催され、児童らがこの日のために練習を重ねてきた劇や合唱、ダンス、学習発表などを訪れた大勢の保護者の前で堂々と発表しました。発表が終わるたびに児童らに惜しめない拍手が送られ、閉会式の講評では、西会津小教頭の飯野淳先生が「自信を持って頑張るみんなの発表は素晴らしかった」と児童らを称賛しました。



一年生による音楽劇「大きなかぶ」

福島ホープス杯 in 西会津

## 県内 6 チームが熱戦

11 月 10 日から 11 日にかけ、「福島ホープス杯 in 西会津少年軟式野球大会」が福島ホープス西会津球場と西会津高校グラウンドを会場に開かれました。

西会津町と喜多方市山都町出身のメンバーで構成する「会津西 B・C」をはじめ、会津若松市や喜多方市、会津坂下町、須賀川市、新潟県阿賀町から総勢 6 チームが参加し、福島ホープスの選手が見守る中、熱戦を繰り広げました。

町内の選手が活躍する会津西 B・C は 3 位決定戦に出場し、喜多方野球スポーツ少年団との接戦の末、延長戦（8 回以降タイブレーク）で惜しくも敗れました。



## 安座おとめゆりの里の新そばまつり 町内外からそば好き集う

秋の深まりとともにソバの収穫期を迎え、11 月 3 日には奥川地区で、11 日には橋屋地区で、18 日には安座地区で「そばまつり」が開かれました。

安座自治区と安座蕎麦打ち愛好会の主催で開かれた「第 6 回安座おとめゆりの里の新そばまつり」には、秋の味覚を味わおうと、今年も町内外から大勢の家族連れなどが詰め掛けました。会場となった安座集会所はそばを待つ人でにぎわい、フランクフルト、玉こんにゃく、焼き鳥といった軽食や、そば打ちの実演も人気を集めました。訪れた皆さんは、打ちたてのそばに舌鼓を打ち、旬の味覚を楽しんでいました。